授業科目 基礎看護学方法論Ⅲ （回復を促進する技術）	専任教員名	単位数 2	時間数 60	履修年次・前/後 2年次/前期
講義のねらい	1　診察・検査の目的と意義を理解し対象の安全・安心を守る技術を修得できる。 2　治療や処置の目的を理解し安全に実施するための体位保持や介助方法を修得できる。 3　洗浄・創傷管理・包帯法の原理原則を理解し技術を修得できる。 4　酸素療法の原則を理解し、取り扱うことができる。 5　吸引の目的・方法を理解し実施できる。 6　薬物療法・輸血に伴う知識及び技術について理解する。			
授業形態	講義・演習			担当及び時間
講義内容	1　診療・検査 1）診察　（1）診察の目的（2）診察時の看護師の役割 2）検査　（1）検査の意義（2）検査における看護師の役割 （3）検査の種類と実施時の注意点（4）検体検査の採取方法とその取扱い 3）検査時の援助　デモンストレーション・演習：（1）検尿、尿比重の測定 （2）血糖測定（3）採血 2　治療・処置　穿刺1）治療処置の目的 2）治療処置における看護師の役割 3）デモンストレーション穿刺の種類 3　洗浄・創傷管理・包帯法（創傷処置は方法論Ⅰで演習する創傷管理は講義を行う） 1）包帯法の目的と原則　2）包帯の使い方　3）その他の固定法 デモンストレーション：　包帯の巻き方			16
	4　酸素療法1）酸素療法の原則　2）酸素の投与方法 デモンストレーション・演習：中央配管による酸素の投与方法、酸素ボンベの取り扱い、残量計算、酸素吸入：　経鼻カニューレ・マスク 5　吸引・吸入　1）吸引・吸入の目的と安全かつ効果的な援助の方法　2）吸引・吸入の方法 デモストレーション・演習：口腔内吸引　鼻腔はモデル人形で実施する超音波ネブライザー			14
	6　薬物療法と与薬時の看護 1）薬物療法の意義・目的　　2）薬物療法の基礎知識　3）薬物療法における看護師の役割　　4）安全・安楽な与薬の実際 デモンストレーション・演習：皮下注射、筋肉注射、静脈内注射、ミキシング、座薬、点滴静脈内注射（シミュレーターを使用） 7　輸血の管理　輸血の意義と管理			30
教科書	系統看護学講座　専門　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③（医学書院）			
参考文献	1　看護がみえる Vol.1　基礎看護技術 Vol.2　臨床看護技術　（メディックメディア） 1　医療安全ワークブック第 4 版川村治子（医学書院） 3　必要に応じて資料を配付する。 4　DVD　看護教育シリーズ　医療チームに必要な画像医学の知識と技術 1）CT 検査　2）MRI 検査　3）核医学検査 4　DVD　実践　看護技術シリーズ 1）診療に係る技術編 VOL.1 検査時の看護Ⅰ VOL.5輸液 VOL.6持続硬膜外麻酔・持続皮下注入　VOL.7輸血 2）最新基礎看護技術 DVD シリーズⅢ第3巻採血・血糖測定 3）看護のための酸素吸入療法 VOL.1 酸素吸入療法の導入　VOL.2酸素吸入療法の実際			
評価方法	終講試験　1・2・3　100 点、終講試験　4・5　100 点、終講試験　6・7　100 点 基礎看護技術試験　6　100 点			
備考欄	・事前に演習を行う内容については、DVD を視聴し確認しておく。 ・演習時の必要な準備については、演習前に示す。 ・演習項目については、授業終了後も練習し、技術修得しておくこと。（実習場における学生・患者相互の不安軽減に向けて努力しておくこと。） ・教員とのコンタクトについては、授業終了後又は終講時に案内する。			